

校長室の窓から

夢はひとりでかなえるもの？

11月12日朝会より

みなさん、おはようございます。今日の朝会では、「夢はひとりでかなえるもの？」という話です。

さて、日本を代表する漫画・アニメと言ったら、何を思い浮かべますか？世界でも人気のある漫画・アニメは日本では、たくさんありますね。はい、このキャラクター分かりますね。そう「ドラえもん」も世界中で愛される、日本を代表する漫画・アニメの一つと言ってもいいですね。

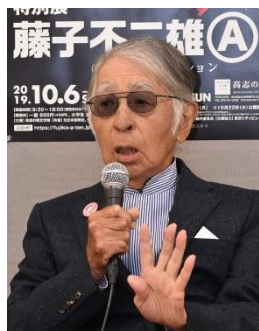
この「ドラえもん」をかいた人は知ってますか？あつ、知ってる人いますね？そう、藤子不二雄という人です。

まず、「ドラえもん」の人気はどれくらいか、というと、漫画の発行部数（今まで、本屋さんに並べられた本の数）で見えていくと、ワンピースの5億1000万部について、2番目。

「ドラえもん」は3億部です。ドラゴンボールよりも多く読まれていますね。外国でもたくさんの子供たちが読んでいますよ。本当にすごいですね。

そんな「ドラえもん」の作者はさっき、「藤子不二雄」さんって言いましたが、「藤子不二雄」という名前は実は“二人で一つ”の名前です。知ってましたか？

「ドラえもん」の作者は、この人。二人を区別するために「藤子・F・不二雄」と本には書かれています。本名は藤本弘さんといいます。代表作には、ドラえもんの他、ポコニャン、エスパー真美、キテレツ大百科などがあります。



では、「藤子不二雄」のもう一人はこの人。いわゆるペンネームは藤本さんと区別するために、「藤子不二雄A」と表記していますが、本名を安孫子素雄さんといいます。代表作には、忍者ハットリくん、怪物くん、笑うせえるすまん、プロゴルファー猿などなど、こちらも本やアニメで大人気になった作品ばかりですね。

それぞれ、大人気の漫画をかけるのに、どうして二人で一人なのか？

その理由には、二人の運命的な出会いに関係がありました。

「運命的な出会いは、小学校5年生。転校先の休み時間、教室で一人、ノートにチャンバラの絵を描いていた安孫子さんに「おまえ、絵がうまいのう」と声を掛け たのが藤本さんでした。共にひ弱ないじめられっ子。漫画が何より大好きで、母子家庭という境遇も重なって、すぐに打ち解けました。安孫子さんは、高校卒業後、新聞社に就職しましたが、2年足らずで退社。漫画に専念するために上京します。きっかけは、藤本さんの「東京へ出よう」という言葉でした。仕事は順風満帆（調子がよく、何も不満がないこと）で、何もあてもない生活に飛び込むことが本当は怖かった安孫子さんでしたが、「二人なら何とかなるかも」と人生をかけてみたのでした。」（東京新聞記事より）

安孫子さんと藤本さんは「二人で一つの夢をかなえよう」としたから、名前を一つにしたんですね。

「不二」という漢字には“二人で一人という意味が込められていたのです。

最初は、二人で協力した合作という形で漫画をかいていきます。次第にその二人の才能が認められる

ようになり、「おぼけのQ太郎」「パーマン」「仙べい」などなど、次々と大ヒット作が誕生していきました。コンビを解散して、二人が独立した後も、互いにこの名前を手放すことはありませんでした。

それだけ、二人には深い友情で結ばれていたということですね。

ついでに、ドラえもんが漫画の中で話していた言葉も紹介します。

○一番いけないのは、自分なんかだめだと思い込むことだよ。

○毎日の小さな積み重ねが、歴史を作っていくんだよ。

○無理しないで、自分の力でできることをやってみようよ

○失敗してもいいさ！温かい目で見守っててやろう。

○にこにこしてるんだよ、いつも楽しそうに。そしたら本当に幸せになれる。



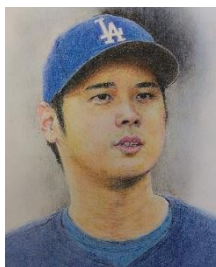
2人の「藤子不二雄」とドラえもんの話をまとめると、こうなるかな？

○（一人ではかなえられない夢でも）二人で力を合わせてかな

える夢もある

○（誰と一緒に夢をかなえるかは分からないから）友達を大切にすること

○（失敗をおそれずに）いまできることをすること



どこかにキミといっしょに夢をかなえるいるかもしれない！

だから、だれとでも仲よく遊び、勉強することが大切だ！

これからもみんなと協力し合ってがんばっていきましょう。

これで校長先生の話が終わります。